科目名	教育学	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

教育は、人間形成のための成長・発達を助けるはたらきかけであり、社会の一員をつくりあげることと、その人自体を価値ある存在としてよりよくすることを目的とする。看護は人間を対象とし、健康の保持増進・疾病の予防・健康の回復・苦痛の緩和を目的とするかかわりであり、対象の思考や行動にはたらきかけ、対象が自らの持てる力を最大限に発揮できるよう、かつ主体的によりよい行動へと変容を遂げられるよう支援する役割がある。さらに、学生も一人の人間として、また将来的には看護の専門職業人として自らを高めていけるよう学びを継続していくことが求められる。

これらの目的と役割・課題を遂行するために、人間形成における教育の意義と機能、他者との関係構築について理解することが必要となる。

学習目標	1. 教育の概念や教育を成立させる要素が理解できる。 2. 教育の実践に必要な知識を理解することで人間の成長・発達にとっての教育の重要性が考察できる。 3. 看護の専門職業人として生涯にわたり成長していくための自己教育力を身につけることの必要性が説明できる。
学習内容	1. 社会のなかの教育と看護　…第1部　第1章（A・B・C） 2. 教育の概念　…第1部　第2章（A・B・C） 3. 教育の対象　…第1部　第3章（A・B・C） 4. 人を教えるということ　…第2部　第1章（A・B・C・D） 5. 他者とのかかわりを導く　…第2部　第2章（A・B・C） 6. 教育の受け手を見まもる　…第2部　第3章（A） 7. 教育を受けて成長する　…第2部　第4章（A・B・C） 8. 教育の目標と評価　…第3部　第2章（A・B・C・D） 9. 教育のデザイン　…第3部　第3章（C） 10. 生涯学習　…第4部　第4章（C・D） 終講試験（90分）
授業形態	講義・グループワーク
評価方法および評価の観点	平常点（出席状況、小レポート等）および終講試験により総合的に判断し評価する。

テキスト	「教育学」（医学書院）－系統看護学講座　基礎分野
参考資料・図書	授業資料は適宜講師が準備する。また、参考図書についても適宜指定する。
履修上の留意事項・受講条件	